



11・3・19(土)  
南NEWS NO70

**You will never walk alone!**

未曾有の悲惨な大災害となった東日本大震災・津波。報道に接して、被災された方々、家族を亡くされた方々の悲しみや絶望、厳寒の中の避難生活を想いやると涙や怒りが無いまぜになる毎日です。南のコーチにも親類の方々と全く連絡がつかなかったり、ご家族が被災したりという方もいらっしゃると思います。心からお見舞い申し上げます。皆様のご家族や親類の方々はいかがでしょうか。一日も早く現状を改善し、復興・再生への道りを歩み出してほしいと願うばかりです。世界中の人々が“日本GAMBAれ”と支援のエールを送り、手を差し伸べてくれています。グローバルな仲間の存在・温もりを感じ、一筋の光明、確かな希望を見いだすことができます。

原発も怖いですが。避難されている皆様の日常の生活があるべき形に回復されることを願っています。今回の日本の事故をきっかけに、“人類の手で制御できないもの・原発”という認識もあり、エネルギーについて世界中で再考する機会となっています。日本中の知恵・世界中の知恵を総動員してクリーンな再生エネルギーを次の世代に手渡すことが私達大人の使命ですね。

計画停電で暗い中、寒さに耐えながら、被災した皆様に想いを馳せながら次のようなことを考えています。

“エネルギーは地下にある化石燃料や原発から、地上にある太陽光・太陽熱・地熱・水力・潮力・風力・バイオマス・燃料電池・ヒートポンプの活用等へ、地下から地上へと、より安全でクリーンなもの・再生可能なものへとシフトしなければならない。ゴビ砂漠に太陽電池のパネルを敷き詰めれば世界中で使う電気の量を賄うことができるのにな、ユニセフ・国連の音頭でやってくれないかな”。

温暖化やオゾン層破壊、放射能等によって子ども達が外でサッカーをできないなどということが絶対にあってほしくないと考えています。

by 南のアンパンマン



## たましんカップ 八王子招待5年

2011・3・6 文化大 G

○試合のめあて

1. 守備
  - (1) 第一DFの明確化とカバーリングの徹底。
  - (2) オフ・ザ・ボールでボールと相手を同一視野に入れる。
2. 攻撃
  - (1) オン・ザ・ボールの選手のパス&ムーブ
  - (2) オン・ザ・ボールの味方へのサポートの質の向上。
  - (3) オフ・ザ・ボールの選手のボールを受ける工夫。セカンドアクション、動き直しの徹底  
(ブロック予選リーグ)

南八王子白 vs 立川9小 1-4 前半2-0 得点者：加藤君

試合は相手の個人技が優れ試合ペースを握られます。特にシュートへの意識を活かして、4点中3点をミドルシュートで決められてしまいました。

その中で、相手ハンドで得たMF加藤君のFKからの鮮やかなゴール、DF林君の抜群の運動量からの献身的な守備と右サイドからの粘り強く1対1から抜け出して右サイドを切り込みプルバック、FW工藤君のGK牛窪からのパントキックに合わせての前への突破力、DF細川君のスライディングでのシュート阻止、DF井上君のアーリークロス、MF中野君のボランチ位置からの前へのプレス、MF小沢君のストップ・ゴー等の良いプレーも見られました。ただし、終了間際にシュートブロックの意識が薄く1分間で2得点を奪われて勝負ありでした。

南八王子白 vs はむら少年 0-4 前半0-2

第一試合の反省からサポートの質を高めポジションを意識します。ただし、FK、CKからのセットプレーからの2失点やGKからの速攻などで計4点を奪われます。4年生MF平山君の溜めをつくったプレーからのパスやMF矢久保君からのスルーパス・・・とチャンスをつくりませんが、全体が連動したプレーが少ない試合でした。

惜しくも2敗で予選敗退でしたが、色々な課題が見つかった試合でした。

【攻撃】縦へボールをほおりこむ攻撃ばかり目立ち、くさびを起点としたサイド攻撃…等の相手守備を崩せるような攻撃の幅を加えたい。そのために、サポートの質(距離、角度、タイミング)の向上、スクリーンプレーなどで、ボールポジションを高める必要があります。縦ばかりでなく横への展開も意識しボールを奪わずキープしてからの攻撃への切り替えが必要です。

【守備】シュートを打たせない守備。ゴール前でのスライディング、相手のボールとゴールの間でのシュートコースのブロックを徹底する必要があります。また、ルーズボールや高いボールの落下点への素早い移動、体を張った寄せからの積極的なボール奪取は5年生の最も苦手なプレーです。

攻撃、守備ともに課題はいっぱいありますが、練習で一つ一つ克服して4月の「全日本」に向けてみんなでGAMBAろう！！

by 中野コーチ

1 試合目、0-2から加藤君のフリーキックで1点を返した後、右サイドスペースへ上がった右DF林君へサイドチェンジの横パスが渡り、ドリブルで持ち込んだ林君が強く低いプルバック、残念ながらジャストミートできずゴールを奪えず。これが入っていたら同点。南のペースになり、展開は変わっていたでしょう。負けていてもこれだけのことができるチームです。力はあるのです。あとは、本気で自分達のサッカーをめざすのか、やりきるのかです。

どうする！？

by 南のアンパンマン

